

「保健師業務における日本語に制限のある人びととの
コミュニケーションの現状およびその要因と背景：
①質問票調査」について
～研究の説明文書～

2025 年 12 月 16 日

研究機関の名称： 名古屋市立大学
研究責任者： 大学院看護学研究科国際保健看護学 樋口倫代
研究分担者： 吉野亜沙子（大学院看護学研究科国際保健看護学・助教）
新井純子（大学院看護学研究科国際保健看護学・博士後期課程）

この説明文書は、あなたにこの研究の内容を正しく理解していただき、この研究に参加するかどうかを判断していただくためのものです。参加するかどうかは、あなたの自由な意思で決めてください。

この説明文書に書かれている内容について、すべて理解した上で研究に参加をしていただける場合は、オンライン質問票冒頭のチェック欄に同意のチェックを入れてから、回答を開始してください。

分からないことや不安なことがある場合は、研究責任者または研究分担者にお聞きください。

1 はじめに

この研究は、名古屋市立大学看護学研究科研究倫理委員会の審査を受け、看護学研究科長に承認されています。

2 この研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学が単独で実施します。

	研究機関の名称	研究責任者
研究代表機関	名古屋市立大学	氏名樋口倫代 (研究代表者)

3 この研究の目的、意義

この研究は、保健師業務における日本語に制限のある人びととのコミュニケーションの現状を体系的に記述し、主要な事象の関連要因を調べることで、背景を探ることを目的とします。

本研究で得られた知見により、保健師業務の現場において、日本語を母語としない人びととのコミュニケーション向上させるために取るべき対策を明らかにすることができます。

本研究は、質問票調査とフォーカスグループディスカッションの2段階で実施しますが、この説明文書の以下の説明は、質問票調査部分についてとなります。

4 あなたがこの研究の対象者に選ばれた理由

① 依頼書配布期間内に、名古屋市内の保健センターに勤務している保健師の方。雇用形態、勤務形態は問いません。

② 研究参加に関して同意が得られた方。(同意は、オンライン質問票の冒頭で匿名で同意確認いたします。)

5 この研究の方法および実施する期間

1) 研究実施期間

この研究の実施を許可された日から 2027 年 3 月 31 日まで

あなたが実際に本研究に参加するのは、2026 年 1 月 9 日までの質問票受付期間内です。この期間内であれば、いつでもどこにいても参加は可能です。質問票への回答は 10 分程度です。

2) 研究対象者の数

名古屋市内の保健センター勤務の保健師のうち、同意をいただいたすべての方にご回答いただく予定です。

3) 研究の方法

本説明書の最後に示してある URL (または QR コード) に各自アクセスしていただき、オンライン質問票にご回答をお願いします。オンライン質問票は、堅牢なセキュリティが提供されたプラットフォームのツールを用いて、研究者自身が作成したものです。<https://web.questant.jp/security.html>

質問票の構成は以下のとおりです。

- ① 参加者属性
- ② 保健センターの外国人利用者やその家族の対応について
- ③ 日本語に制限のある人びととのコミュニケーション手段について
- ④ 異文化対応について
- ⑤ その他

回答は、オンラインで回収されます。そのデータを研究者がダウンロードし、名古屋市立大学において統計的解析を行います。

6 この研究に参加することで期待されるあなたの利益と予測される負担・リスク 《利益について》

この研究に参加することによるみなさまへの直接の利益はありません。外国人利用者対応についての負担感、不安などとその関連要因が明らかになることにより、外国人利用者に対するよりよいサービス提供の開発に貢献できます。

《不利益（負担やリスク）について》

時間的負担は 10 分程度です。期間内であれば、回答の時間と場所は問いません。通信環境によっては、オンライン回答の際の通信料が発生することがあります。質問票への回答のみですので身体的負担はありません。心理的負担が予想される質問は含まれていません。

7 研究への参加の自由と同意撤回の自由

研究への参加は任意（自由）であり、協力の同意・不同意が職務に影響を及ぼすことはありません。質問票冒頭の同意確認欄にチェックして質問への回答を開始した後も、回答を送信しないことで、途中で参加を中止できます。ただし、無記名の自記式質問票調査なので、質問票回収（送信）後の回答の撤回は不可能です。

8 研究に関する情報公開

この研究の成果は、学術雑誌や学術集会を通して公表する予定です。また、分析のために用いたデータを学術雑誌の規定にもとづき公開することがあります。いずれの場合も回答された方々の個人情報などが分からない状態で発表します。

9 研究計画書や研究の方法に関する資料の閲覧について

この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、この説明書の最後に掲載している URL（または QR コード）からご覧になれます。または、研究責任者または研究分担者にお申し出ください。

10 個人情報等の取り扱い

質問票では、氏名等のいわゆる個人情報はお尋ねしませんが、所属施設、保健師取得からの年数、勤務形態、年齢、性別などへの回答から、理論的には個人の特定が可能になるかもしれません。しかし、研究者はそのような詮索をいたしませんし、お答えいただいた個票（1 人ずつの回答一覧）をそのままの形で研究者以外に開示することはありません。研究結果やデータの公表の際は、施設名は伏せ、個人が同定できないようにいたします。

11 情報の保管方法、廃棄方法

この研究の情報は、外付け記憶装置（USB フラッシュメモリ）に記録し、ファイルにパスワードをかけて施錠可能なキャビネットに保管します。保管期間は、この研究の終了について報告した日から 10 年を経過した日です。保管期間が過ぎた後、電子媒体の情報は復元不可能にしたうえで廃棄します。

もし同意していただければ、将来の研究のための貴重な資源として、今回収集した情報から作成されたデータセットを再活用させていただきます。その際のデータセットは回答された方々の個人情報などが分からない状態となっています。

成果発表する学術誌によっては、分析のために用いたデータを個人情報が見えない状態で公開することを規定している場合があります。その学術誌のウェブサイトまたは適切なデータリポジトリで公開します。その場合、電子媒体を破棄した後も、データセットはパブリックドメイン（公有のもの）であるとみなされます。

12 あなたの情報を将来の他の研究に用いる可能性や、他の研究機関に提供する可能性について

あなたの情報を、将来、保健医療における日本語に制限のある人びととのコミュニケーションに関する研究に使用させていただく可能性があります。その研究を実施する前には、改めて看護学研究科研究倫理審査委員会に研究計画書を提出し、承認を受けます。情報を研究に用いる際には、研究についての情報を下記の Web サイトに公開します。

【国際保健看護学領域樋口倫代研究室 “国内研究”】

https://ncugch.jp/na_research/

13 研究により得られた結果等の取り扱い

この研究で行った解析の結果は、あなた個人の評価する目的ではなく、また個人情報データを回収しないため、誰の結果かわかりません。そのため、各個人の回答の集計結果を個別にはお伝えできません。

14 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、研究事務局に遠慮なくご相談ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院看護学研究科国際保健看護学（葵キャンパス）

所在地： 〒461-0004 名古屋市東区葵 1-4-7

電話番号： 052-982-7358

（対応可能な時間帯） 平日 10 時から 15 時 30 まで

対応者： 樋口倫代（研究代表者）、津久井陽子（研究補助者・事務）

E メール： ncugch1@med.nagoya-cu.ac.jp

15 あなたの費用負担、謝礼の有無

この研究に参加いただくことによる謝礼はありません。通信環境によっては、オンライン回答の際の通信費を回答者にご負担いただくことになります。

16 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

本研究は、名古屋市立大学の「共創まちづくり研究推進費」により、名古屋市の部局（健康福祉局健康部健康増進課）の協力で実施する。「共創まちづくり研究推進費」は、名古屋市立大学が名古屋市の協力・連携のもと、大学提案型による行政課題・地域課題の解決を目指して開始した事業です。

本研究は名古屋市に対して外国人利用者対応に関する情報提供は行いますが、本研究の計画、実施、解析並びに公表に関する意思決定は研究代表者が行い、意図的に名古屋市に都合のよい成績となるよう導くことはありません。なお、研究責任者は、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に関連する名古屋

市との利益相反関係について自己申告を行っています。

17 研究成果の帰属について

この研究で得られるデータまたは発見に関しては、研究者もしくは研究者の所属する研究機関が権利保有者となります。したがって、あなたが経済的利益を得ることはなく、あらゆる権利は、研究者もしくは研究者の所属する研究機関にあることをご了承ください。

しかし、行政課題・地域課題の解決を目指して開始した「共創まちづくり研究推進費」により実施されることから、研究成果は研究協力機関と共有し、行政課題・地域課題の解決に活用します。

研究に関する資料は以下からご覧になれます。

https://ncugch.jp/na_research/



同 意 書（オンライン質問票の冒頭に置く）

公立大学法人名古屋市立大学理事長 様

私は、「保健師業務における日本語に制限のある人びととのコミュニケーションの現状およびその要因と背景：①質問表調査」の研究内容について十分説明を受け、理解しましたので、自らの自由意思に基づきこの研究に参加することに、

☐ 同意します。 ☐ 同意しません。

あなたから頂いた情報を、将来の他の研究に利用することについて、

☐ 同意します。 ☐ 同意しません。